

特別支援教室「さくら」ってどんなところ？

特別支援教室は、現在、東京都すべての学校に設置されています。特別支援教室「さくら」を利用するお子さんは、通常はそれぞれの学級で学習をしながら、決められた曜日・時間に、特別支援教室で個別学習や小集団学習を受けることができます。利用しているお子さんの願いには、次のようなものがあります。

「みんなの前で自分の思いや考えがうまく話せないから、自信をつけて伝えられるようにしたい。」

「イライラや不安な気持ちをコントロールすることが難しいから、落ち着き方を知りたい。」

「友達とのやりとりの仕方を知って、もっと仲良く遊べるようになりたい。」

「音読でつかえてしまったり、黒板の字をノートに書き写すことに時間がかかったりするから、読み書きがスムーズにできるようになりたい。」

「さくら」は、このような一人一人のお子さんの「困っていること」や「願い」に寄り添いながら、ご家庭や在籍学級の担任、さくらの教員等、児童にかかわる大人が連携し、一人一人の特性や課題に合った指導・サポートを行っています。

特別支援教室「さくら」の施設紹介

校舎の1階に「さくら」の教室があります。

- ・視覚的、聴覚的に刺激の少ない環境を設定する。
- ・見通しをもって学習できるよう
授業の流れや作業の手順を視覚化する。
- ・児童が、めあてを意識し、前向きに取り組めたときに、
即時に肯定的な言葉かけをする。

などを意識して指導を行っています。



さくら学習室I



さくらプレイルーム

指導内容の紹介

個別学習

一人一人の特性や課題に応じて、教材を工夫し指導しています。

「自分はこんなことを考えていたのだ」

「この方法なら、うまくできそう」

と、思える体験を積み重ね、学習意欲や自信につなげていきます。



【指導内容例(ねらい)】

- ・自己表現や生活の振り返りの学習
(心理的な安定を図る・自己理解を深める)
- ・認知の特性に応じた読み書き・計算の学習
(読み書き・計算をスムーズにする)
- ・ビジョントレーニング
(眼球運動をスムーズにする)
- ・聞き取りトレーニング
(集中力・短期記憶を養う)
- ・ソーシャルスキルトレーニング
(社会性を高める)
- ・運動
(体幹を鍛える・感覚統合を促す)
- ・アングーマネジメント
(感情の理解・コントロール)

小集団学習

数人のグループで活動することを通して、他者と関わる時や、集団の中で必要な力、ルール・マナーを理解する力を育てていきます。

「協力するとはどういうことか」

「相談したらうまくいった」

など、友達と一緒に学習するよさを味わえるような活動を取り入れています。

一見、ゲームのように見える学習の中に、【周りを見て行動する】【折り合いをつける】などの、コミュニケーションに大切な要素が、たくさん存在します。

【指導内容例(ねらい)】

- ・スピーチや言葉集めの学習
(話す・聞く力をつける・語彙を増やす)
- ・相談・話し合い活動
(援助要求をする・
相手を意識した言動を身に付ける)
- ・カードゲームやボードゲームを用いた学習
(ルールを守る・勝ち負けを受け入れる・
やりとりを楽しむ・相談をする)
- ・運動
(感覚統合を促す・ルールを守る・
集団行動のスキルを身に付ける)
- ・制作
(見通しをもつ・指先の微細運動の力を養う)

特別支援教室の目指す児童像

- ◎自分の得意なこと、苦手なことを知っている。
- ◎困った時、分からない時に、助けをもとめることができる。適切な人に相談することができる。
- ◎自分の考えにこだわらず、視野を広げて考えることができる。
- ◎他者と気持ちよく関わるができる。



お子さんのことで気になることがございましたら、いつでもご相談ください。(☎ 3718-4506)